

樹脂発泡技術の独自進化

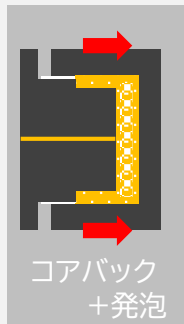
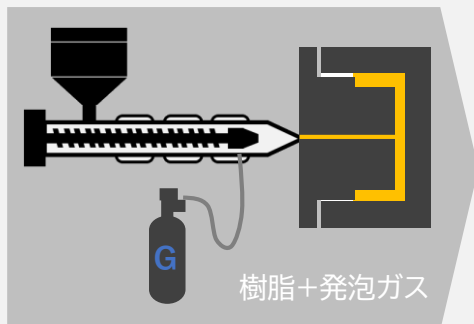
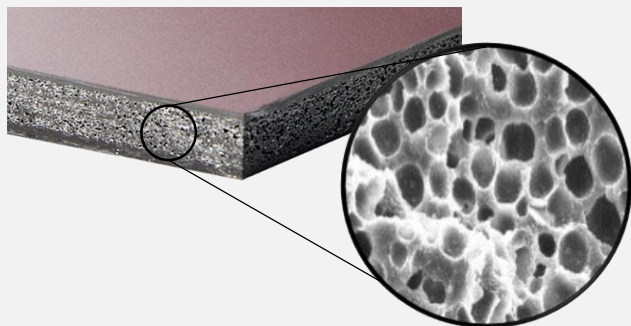
発泡技術を応用し、意匠性と環境性へ適合させた外観製品



- 塗装可能な高外観発泡技術で、重量20%低減・コスト7%低減
- アップサイクル材を組み合わせた新規意匠の開発
- PCR材＋発泡技術で環境特性向上

※PCR:市場回収品リサイクル(Post-Consumer Recycled)

発泡成形技術



樹脂を金型に充填後、金型を後退させ容積を拡大。生じた空間に向かって樹脂が発泡することで体積を増加させるとともに、成形品の板厚内部に多孔質な複層構造を形成する成形法。

外観

最適な発泡条件により表面滑性を確保
これまで困難であった塗装品への展開が可能

意匠

発泡成形に地域廃材の牡蠣殻を融合させ
軽量＋環境の性能を満たした新たな意匠

環境

ELVを含むPCR 100% 材に発泡技術を加え
外観を維持しながらも環境適合した製品を実現



ダイキョーニシカワ株式会社
DaikyoNishikawa Corporation

複写の作成・配布・二次利用を禁じます